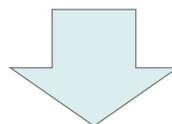


# 「地震に関する防災アセスメント調査」を 踏まえた本県の大規模地震対策について

令和8年2月19日

## 対策のポイント

- ▶地震防災アセスメント調査結果の分析に基づく、課題の洗い出し
- ▶地震災害から県民の生命・身体・財産を守り抜く防災対策の加速化



令和8年度の予算編成に向け、全庁を挙げて取組を検討

## 重点項目

- 災害時の被害を最小化し、被害からの迅速な回復を図る「減災」の考え方に  
基づく、インフラ・ライフラインの強化
- 地震による建築物の倒壊から県民の生命、身体及び財産を守る、既存建築物の  
耐震化の総合的かつ計画的な促進
- 「災害関連死」を最大限防ぐ、被災者支援・災害関連死防止対策の強化
- 県庁内、関係機関等との連携による、大規模地震を想定した訓練の強化
- 県民の防災意識の向上を図る、防災に関する情報発信の強化

# 大規模地震対策について

農林水産部

○ため池や農業用水路、井堰、ポンプ等の農業水利施設は、点検診断や耐震性の評価等を踏まえ、機能強化や老朽化対策を実施



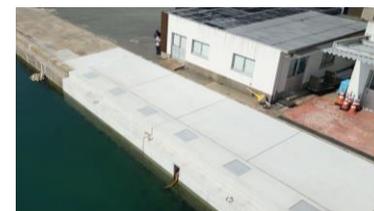
ため池の改修工事

○治山施設は、点検診断や耐震性の評価等を踏まえ、機能強化や老朽化対策を実施



機能強化された治山施設

○漁港施設は、耐震・耐津波に対する機能評価を踏まえ、岸壁等の強化工事を実施



漁港岸壁の強化工事

## ■ 福岡県道路啓開計画の改定

- 「地震に関する防災アセスメント調査」の結果を踏まえ、道路閉塞のリスクを勘案した啓開ルートに見直し
- 道路管理者の管理区分を超えた道路啓開を可能とするために、国をはじめとする関係機関と対象ルートを新たに設定

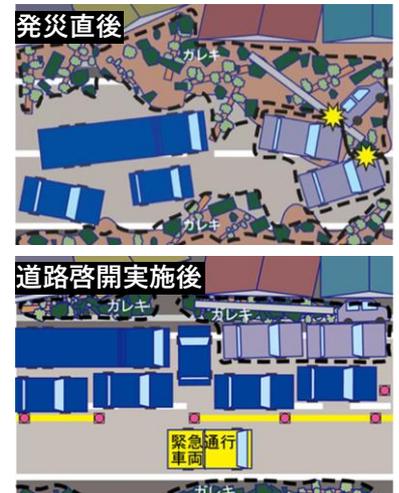
## ■ 実効性の高い道路啓開体制の構築

- レッカー事業者団体と「災害時における車両の移動に関する協定」を令和8年2月9日に締結し、災害対策基本法に基づく迅速な車両移動の体制を構築
- レッカー事業者団体をはじめとする関係機関と連携し、最大震度7の地震を想定した防災訓練を定期的実施

## ■ 道の駅における防災拠点機能の強化

- 災害時に道の駅が地域の一時避難所や、救援活動の拠点等として活用できるよう、各道の駅において、執行体制及び対応手順を明記した事業継続計画を策定
- 停電・断水時においても、被災地に移動して使用可能な、循環型コンテナトイレを、防災道の駅「みやま」に導入

■ 道路啓開のイメージ図



■ 関係機関との連携イメージ



写真提供：JAF

■ 被災地でのトイレ利用状況



写真提供：国土交通省

## ○計画の目的

地震による建築物の倒壊などの被害から県民の生命、身体及び財産を保護するために、既存建築物の耐震診断や耐震改修を総合的かつ計画的に促進する

## ○計画期間

令和8～17年度（現行計画は平成28～令和7年度）

## ○計画の主な見直し

平成28年熊本地震や令和6年能登半島地震における建築物構造被害の原因分析結果や「地震に関する防災アセスメント調査報告書」における建物被害想定結果を踏まえた取組の方向性を反映

## ○計画案（抜粋）

各市町村の住宅の耐震化率や防災アセスメント調査による被害想定の結果を踏まえ、耐震化の進んでいない地域や被害リスクの高い地域を対象として、重点的な情報提供を行うとともに、市町村と連携しながら効果的な取組を検討する。

## ■ 福岡県備蓄基本計画の見直し

- 「自助」や「共助」の役割の重要性について明記
- 県や市町村の備蓄目標量に在宅避難者や車中泊避難者を考慮することを明記
- 県の食料等の備蓄目標量を最大避難者数の1日分の3分の1から1日分に増加 等

## ■ 避難所環境の改善

- 令和6年能登半島地震において各地で断水が発生したことを踏まえ、避難所での入浴機会を確保するため、水循環型シャワー設備及び手洗い設備の導入を検討  
(平時においても、防災訓練等のイベントに貸し出すことで、防災意識の啓発に活用)

## ■ 県災害対策本部機能の拡充

- 県庁舎等が機能不全となった場合を想定し、災害対策本部の総合司令部代替施設を現在整備中の篠栗合同庁舎の設置を検討

## ■ 安定した震度情報ネットワークの構築

- 地震発生時においても継続的に震度情報の収集ができる安定したネットワークを構築するため、震度情報ネットワークの観測地点の通信路に異なる事業者の2つのLTE回線による二重化を検討(無線化することにより断線リスクも回避)

## ■ 大規模地震を想定した訓練を実施

- 県の災害対応力の更なる強化を図るため、県内で最大震度7の地震が発生することを想定した大規模地震訓練(図上訓練)を実施

## ■ 防災アプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」の機能強化

- 防災情報を包括的に提供する総合アプリとして必要な機能を追加



### 【令和7年度追加機能】

- ・ 今回の調査結果を踏まえ、県内の各断層等による地震によって想定される「震度予測」及び「液状化予測」を地図上で表示  
(R7年10月追加)

### 【今後追加検討機能】

- ・ 災害に備えた防災学習情報や災害時の支援情報を閲覧できる機能
- ・ 防災情報を簡単に検索できるAIチャットボット機能
- ・ 防災情報を取得できるエリアを最大5エリアから県内全域（県内全市区町村72エリア）へ拡大